

サンフロント21 懇話会

〒410 沼津市魚町1番地
-8560 サンフロント5F
静岡新聞社・静岡放送
東部総局内
事務局
TEL 055・962・6520

2013.1.29 No.95



静岡新聞社・静岡放送会長

松井 純

サンフロント21懇話会の活動は今年で19年目を迎えます。日ごろから多くのご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年末誕生した安倍政権がデフレ脱却を掲げたことなどを受け、日本経済は株高、円安でスタートしました。日々の暮らしに希望が持てるよう新政権の動向を注視したいと思います。

活動の基盤となる会員拡大につきましては、皆様にご大変なご支援とご協力を頂戴しています。約3年間で95人に入会いただき、会員数は336人となりました。ご尽力いただいた方々、そして何より加入していただいた方々に感謝申し上げます。

一昨年から会員を対象に始めたSBSラジオ番組「しずおかマイトーク」に積極的に出演いただき県東部の発信力をさらに強めてください。

今後も変わらぬご支援、ご協力をお願いするとともに、この1年がさらなる飛躍の年となりますようお祈りします。



スルガ銀行社長

岡野 光喜

会員の皆様におかれましては、今年もそれぞれのお立場で、一層のご健勝とご活躍をお祈りします。

県内は今年、1月末の指定が見込まれる内陸フロンティア特区と6月ともいわれる富士山世界文化遺産登録があります。いずれも県東部の発展につながるトピックスです。特に内陸フロンティア特区が実現すれば、実体経済とマインドの双方に好影響が期待できます。

自公政権は課題が山積しています。特に雇用の増加など生活者が景気回復を肌で感じられるところまで到達させてほしい。地域経済の再生には過去の成功体験を忘れることが必要です。社会経済は刻々と変化しています。柔軟な発想と行動力で、さらなる創意工夫を凝らして、県東部の活性化を推進しましょう。今年もご支援、ご協力を切にお願いする次第です。

新年のご挨拶



静岡県知事

川勝 平太

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

本年は、富士山の世界文化遺産登録を目前に控え、皆様の期待も最高潮に達しつつあるでしょう。昨夏のイコモスの調査では、御来光も御覧いただき、私たちが訴えてきた富士山の精神性、文化性が確かに伝わった手応えを感じました。必ず登録が実現するものと確信しています。

我が国には、北の利尻富士から南の薩摩富士に至るまで、340以上もの見立て富士があります。まさしく「富士の国」と呼ばれるゆえんです。世界文化遺産への登録は、この富士の国の中心に位置する“ふじのくに”静岡県のアイデンティティを確立する契機となります。「美しさ」や「多様性の和」、「富国有徳」など、富士山が教えてくれる価値観を大切にして、その気高さに恥じない

地域づくりを進めたいものです。

昨年4月には、162kmに及ぶ新東名高速道路の県内区間が計画を前倒して開通しました。以来、各SA・PAには連日多くの観光客が訪れ、大変な賑わいを見せています。新東名は今後、本県内から東西に向かって延伸されていく予定です。“ふじのくに”を起点として、富士の裾野が広がるように東の関東平野、西の濃尾平野に下っていく、まさに「東海道新時代」が幕を開けようとしています。

新東名の開通や富士山の世界文化遺産登録を経て、いよいよ静岡県が日本の中心として大きく存在感を発揮する時期を迎えています。国の中心は都です。本県は、言わずと知れた「茶の都」であるとともに、食材の数が日本一の「食の都」です。さらには恵まれた自然環境を十分に活かした「花の都」「森の都」「水の都」「太陽の都」でもあります。“ふじのくに”静岡県が、“富士の国”日本の都になるのです。

本年の干支である「巳」は、情熱と探究心の象徴とも言われます。両者を常に心に備え、“ふじのくに”の都づくりを加速してまいりますので、皆様の御協力をお願いします。



沼津市長

栗原 裕康

新年あけましておめでとうございます。

平成25年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

お陰様で昨年秋、市民の審判により二期目の市政を担当する事となりました。

現在の沼津の状況、更には日本全体が大変厳しい中、改めて責任の重大さを痛感しております。

さて、これから沼津を一体どうすればいいのでしょうか。

まず第一は、市役所が「市民の役に立つ所」の原点に戻り、徹底した行政改革を断行する事です。私は市長就任以来、長い間習慣化してきたいわゆる役所体質の改善に努めて参りました。

「イーラde」の経営改善や事業仕分けによる税金の無駄遣いをなくす努力は徐々に成果が上っております。

第二は、過去の経済が順調に推移していた時代のようにサービスの充実等の要望を持ち込む事は、今や「ないものねだり」に等しいとご理解いただ

きたいと思えます。

私達は沼津について、その優位性をどれだけ認識しているでしょう。「沼津の宝百選」等で沼津の良さをもっと市の内外にアピールし、それを利用したまちおこしに生かすべきです。

また、時代の変化を的確にとらえ、それに合ったまちづくりを考えることが大切です。

例えば車社会が当分続く事に鑑み、サービスエリアのスマート・インターチェンジの導入等を積極的に国に働きかけていく事が重要です。

中心市街地については沼津駅周辺総合整備事業等を着実に推進し、高齢者を対象として、まちなかに都会的な住空間を創出していく施策を考えなければなりません。更に津波、地震の正しい情報を共有し、万が一の時でも命だけは守る防災・減災対策等を講じる必要があります。

さらに、市町の合併については温度差がありますが、広域化は将来避けては通れない課題です。

現在の閉塞状態は、昨日から今日へと急に到来した訳ではありません。明日は突然良い日になるという幻想を持つ事なく、確実に沼津が前進するという希望を持って共に進んで行こうではありませんか。

末筆となりましたが、今年一年、皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げ、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

われら 巳年生まれ



巳年生まれの方は心が広く、我慢強いといわれています。まさに天運に恵まれているといえましょう。東日本大震災の復興、原発事故に伴うエネルギー問題、尖閣や竹島をめぐる領土問題、経済再生など国内外ともに課題山積です。昨年末、自公連立で誕生した第2次安倍内閣の手腕が問われています。この1年、幸多かれと願うとともに、巳年生まれの会員の皆様に新年の抱負を寄稿していただきました。



伊豆の国市長
望月 良和
昭和16年10月2日生まれ

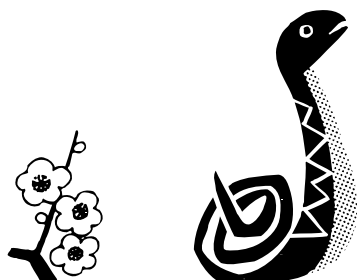


大同工業株式会社
代表取締役
堀口 武彦
昭和16年10月20日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

一昨年の東日本大震災から早くも2年を経過することとなります。一千年に一度と言われます大災害でありましたが、福島原発問題に端を発した脱原発問題は、地域経済はもとより日本全体の経済問題であり、今後の日本のアキレスけんとなりそうで心配です。

今年は巳年です。巳は「蛇」、蛇は脱皮することから「復活」を連想させます。日本が震災から復活と再生の年となりますようお祈りいたします。



新年あけましておめでとうございます。

光陰矢のごとし、一日一週間がもっと長く感じられる手立てがないものかと嘆く昨今です。

それにしても、日本経済の低迷は想像以上と感じています。超高齢化と人口減少という大きな壁があるものの、日本人の底力は決して侮ることはない。日本には素晴らしい技術力と文化力があります。

私の本業も考え方一つで、まだまだ発展の余地があると思っています。また、私にとって副業となっているNPO法人・伊東市文化財史蹟保存会の事業も、多くの方々の力を受けて、より一層、地域活性化の一役を担うべきと考えています。

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。



三島函南農業協同組合
代表理事組合長

山田 壽次

昭和16年11月2日生まれ

6回目の年男を迎えました。

10代を基準にして、日・時の経過は、20代で2倍、30代で3倍の速さで過ぎてゆくとのこと。

70代の我は7倍。目の回るスピード。

必成目標 五穀豊穰・事業目標達成

望成目標 一日プラス2,000歩継続・節酒

愚目標 ゴルフ90を切る

本年もよろしく願いいたします。



株式会社ミツイシ
代表取締役

石川 征雄

昭和16年11月15日生まれ

あけましておめでとうございます。

本年はミツイシを創業して50周年の記念すべき年。

長年培ってきた家電販売業界から農業の世界へ、葉物野菜の水耕栽培完全人工型植物工場を立ち上げ2年となります。

今年も一途にひとすじに、美味しくて安全、安定的な収穫を目指し、皆様により良い野菜をお届けできますよう、一日一日を大切に、心を込めた野菜づくりに努めてまいります。

何とぞよろしく願い申し上げます。



株式会社静岡中央銀行
取締役社長

奥田 一

昭和16年12月23日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

去年は震災復興の1年でした。

今年は巳年で「冬眠から目覚め、万物に生氣が蘇る」という年であって欲しいと願います。

年末には政権交代もあり流れが変わりました。

円高対策や経済再生実現への期待で円安・株高へ好転、輸出の回復で、大手企業は3月決算の上方修正、中小も好影響で前向き、出遅れた復興も本格前進が期待できます。金融機関も金融サービス業として改革前進。マスコミにも明るい報道を期待します。



株式会社静岡伊勢丹
代表取締役社長

松村 彰久

昭和28年1月2日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、弊社は現在、県東部におきましては、富士市の「静岡伊勢丹コリドーフジ」を拠点とした営業活動と、年5回「ふじさんめっせ」にて販売会を開催しております。

本年はご存知の通り巳年でございます。

巳という字は、胎児の形を表した象形文字で蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ「起こる、始まる」などの意味があるそうです。

弊社としても本年は、富士地区のみならず、沼津地区におきましても、「みなさまのお役にたてる存在」となるべく「始まるの年」となるよう鋭意努力していく所存でございます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



静岡コンサルタント株式会社
代表取締役

森崎 祐治

昭和28年1月23日生まれ

あけましておめでとうございます。

東日本大震災が発生してこの3月で丸2年が経とうとしています。地震、津波、原発事故の衝撃、その影響からあらためて感じることは「普通の日常」のありがたさ、大切さです。

私たち郷土においても、この「日常」を大切に守っていかなければなりません。日々の生活の基盤＝社会資本を支え続け時代の要請である大災害や老朽化から守る力の一翼を今年も微力ながら担ってまいりたいと思います。



株式会社スワベ商会
代表取締役社長

諏訪部照久

昭和28年9月8日生まれ

あけましておめでとうございます。

今年の干支は癸巳、私はびっくり還暦となりました。

巳は、従来の状態が終わりを告げる年で、癸は、万物筋道を立てて物事を「はかる」という意味があるとのこと。

昨年は日本と隣国のリーダが変わった年であり、まさに今年は、癸巳に相応しい年になりました。私も昨年、社長就任20年の節目となりました。

今年は、過去を省みて、筋道を立てて物事を考え、飛躍のできる会社づくりを目指します。



株式会社SBSプロモーション
代表取締役

村田 潔春

昭和28年3月1日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

私たちを取り巻く環境は、マクロでは政治経済、ミクロでは生活スタイルまで変化に次ぐ変化です。まさに 成熟社会真っ只中。ビジネスでは、「潜在欲求」にどう気づいていくのかが大事になってきました。

弊社のビジネスの柱である「広告・マーケティング・生損保・旅行」も生業の発想を代理店業感覚から脱皮する年だと思っています。地域にこだわりながら「新しい発想の生業の構築」を心掛けたいと思います。へび（巳）は実〔巳〕入りにつながると信じてこの一年踏ん張ります。

本年も本音のコミュニケーションをよろしくお願いたします。



株式会社山六ひもの店
代表取締役

中嶋 三恵

昭和28年9月13日生まれ

年を重ねるにつれ、一日一日を大切に後悔しないような人生を過ごしたいと思っています。

今日出来ることは明日に持ち越さず、なるべくやるように心掛けています。

あと何年現役でいられるか分かりませんが私に与えられた日々をこれからも笑顔で前向きに、そして感謝の気持ちで生きていけたらと思っています。





小原自動車工業株式会社
代表取締役

小原 佳裕

昭和28年9月15日生まれ

新年あけましておめでとうございます。
本年いよいよ還暦を迎えることとなりました。
また、会社も創業90周年になります。
これもひとえにお客様をはじめ皆様のご支援の
賜物と深く感謝いたします。「自動車整備を通じ
て、人々の暮らしと社会に貢献する」を経営理念
とし今年には創業100年に向けて、これからの10年
の礎となるようお客様に満足していただけるサー
ビスを提供し続けます。



大成有楽不動産株式会社
名古屋支店浜松営業所所長

佐々木道武

昭和28年9月23日生まれ

新年あけましておめでとうございます。
昨年末行われた衆議院選挙で、日本の政治は新
たなスタートをきることとなりました。我が社も
昨年4月に大成建設グループの大成サービス(株)
と有楽土地(株)が合併いたしまして、大成有楽
不動産(株)としてスタートしております。今後
はグループの中核会社として、総合的な不動産関
連会社としてお客様のニーズにお応えしてまいり
たいと考えております。
会員皆様のご健勝とサンフロント21懇話会の
ますますのご発展をお祈り申し上げます。



株式会社イカイ
代表取締役社長

伊海 剛志

昭和40年7月9日生まれ

あけましておめでとうございます。
弊社は今年で43年目です。
私は会社の老朽化を懸念しています。
今年社員に伝えた新年の抱負は“若さ”です。
“若さ”は“バカさ”です。
バカだから……。
学びます・行動します・間違えます。
今年の外部環境がどのように変化するのか私は
わかりません。
だからこそ弊社は全員が“若さ”“バカさ”を
もって挑戦して行きます。
イカイグループはこのような会社です。
本年もどうぞ、よろしく願いいたします。



県議会議員(富士市)

櫻町 宏毅

昭和40年9月6日生まれ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。新年がよ
き年となりますことを祈念いたします。
私が生まれた昭和40年は高度成長真っ只中に
あり、日本の将来に対しては不安材料など微塵も
なかったわけですが、長引く景気の冷え込みやモ
ノづくり企業の海外流出など、昨今の日本は当時
の明るさと元気を失いつつあります。国民の豊か
で幸せな生活を守るため、国政と地方政治の連携
がますます重要となり、私も当事者の一人として
尽力してまいります。

◎ねじれ解消、二大政党制に幕が 参院選、自民勝利で



共同通信社 政治部長

鈴木 博之

「2013年政局」の最大の焦点は、夏の参院選で国会のねじれが解消するかどうかだ。大胆に予測すれば、有権者は不安定な政治状況打開のため、衆院選で294議席と圧勝した安倍自民党に再び多数の議席を与えるのではないかと。参院選はねじれを解消させ、二大政党制に幕を引くかもしれない。

自民、公明両党は衆院選で定数480の3分の2を超える計325議席を獲得した。このため、参院で法案が否決された場合でも、安倍晋三首相は衆院再可決に持ち込み成立させることができる。ただ当面は、法案ごとに民主党やみんなの党、日本維新の会などと「部分連合」して乗り切ることになりそうだ。福田政権は衆院再可決を続けた結果、次第に支持率が低下し、退陣に結び付いた。参院選まで安倍政権は失点を防ぐ安全運転に徹するとみられる。

参院選は7月21日投票が濃厚だ。衆院選の各党比例代表票を基に、参院選をシミュレーションすると、改選121議席のうち自公が69（うち自民62）議席を獲得する。非改選を合わせると127議席で定数242の過半数となる計算だ。

今回の参院選は、安倍首相が前回在任時に大敗した07年選挙のリベンジに当たる。この選挙で自民党は37議席にとどまり、民主党が60議席を獲得した。デフレ脱却・景気回復のムードが出てくれば、その議席数が逆になることは十分あり得る。一方、海江田万里元経済産業相を新代表に選出した民主党は、先の試算では、非改選と合わせて計59議席（現有88議席）まで落ち込む。衆院に続き二大政党の一翼から転落しかねない。自公に維新を加えて過半数となれば、民主党の存在感はますます低下する。

安倍首相が参院選で勝利すれば、自民党総裁の任期切れを迎える15年までは政権を維持できる展望が見えてくる。その場合、首相の持論である集団自衛権行使の容認、そして憲法改正の動きが具体化する可能性がありそうだ。

◎経済再生へ 正念場の年



時事通信社 経済部長

境 克彦

2013年の日本経済は、師走の衆院選で圧勝した自民党の安倍晋三首相への期待に包まれて好スタートを切った。デフレ脱却に向けて安倍氏が訴える①金融緩和②積極財政③成長戦略—の「3本の矢」を好感し、市場では円安・株高の流れが定着しつつある。だが、実際に今年が「経済再生元年」となるにはハードルも少なくない。

海外経済減速の影響で、景気は12年春から後退局面に入ったとみられているが、最近の指標には底打ちの兆しも出始めてきた。今後の回復シナリオのカギを握るのは輸出の持ち直しだ。米国の「財政の崖」転落はいったん回避されたとはいえ、全面解決したわけではない。欧州債務問題は引き続き世界経済のかく乱要因になると懸念されている。

国内では、安倍政権の政策遂行能力が問われるだろう。19年ぶりの越年編成を強いられた13年度予算の成立は5月の大型連休前後にずれ込む。政府は景気への悪影響を食い止めるため、総事業費20兆円超の12年度補正予算を編成。さらに引き続き、日銀に大胆な金融緩和を求めていく構えだ。

今年の景気動向は政治的な意味合いも帯びてくる。14年4月に消費税率を8%に引き上げるかどうかは半年前の今年秋に内閣が判断するが、消費増税法の「景気条項」は経済状況の好転を実施条件に挙げているからだ。

重視されるのは8月に発表される4～6月期の国内総生産（GDP）。安倍首相は選挙期間中、増税実施はデフレ克服などを条件に慎重に検討すると強調しており、景気条項の解釈をめぐる論議も高まりそうだ。夏には参院選が控えており、消費増税の行方には不透明感が残っている。凍結となれば、財政健全化目標は大幅な見直しを迫られ、日本国債の格付け引き下げなどで市場に動揺が走る恐れもある。

個別テーマでは①日銀総裁の後任人事②日中関係の行方③環太平洋連携協定（TPP）交渉への参加問題④唯一稼働している関西電力大飯原発の扱い—が大きな関心を集めるだろう。

ラジオマイトーク

【平成24年10月28日放送】



新しい発想で自ら挑戦へ

えん どう とし はる

遠藤敏東氏

富士商工会議所会頭
(株)エンチャー名誉会長

- ▷主義 何事も自分で
- ▷趣味 旅行、ゴルフ
- ▷出身地 富士市

〈お話のポイント〉

- ♠富士市は全国屈指の「紙のまち」として発展してきましたが、製紙業界は厳しい状況にあります。これからは新しい発想で自ら挑戦していく、という元気さが必要だと思います。
- ♥商工会議所の発案で、「富士山紙フェア」を11月3、4日に初開催。紙をもう一度、自分たちの生活の中で身近に感じていただくということが狙いです。トイレトーパー積み上げコンテストや紙飛行機大会など、紙で楽しんでいただくイベントも企画しました。
- ◆新東名の県内区間が開通しました。私には

新東名と在来の東名高速を結び付けるという構想があります。構想の中にはロープウェイやテーマパークなどもあり、富士宮市も含め、富士山南麓地域が一イベント会場になるぐらいの形づくりを考えています。まさに夢のような構想ですが、そのぐらいのビジョンを持つ必要があると思います。

♣エンチャーは木材から出発して、ホームセンターに変身してきました。やはり私は木をコアに考えたいと思います。DIY産業は、夢が持てる産業だと誇りに思っています。

ラジオマイトーク

【平成24年12月23日放送】



成長市場の中国で事業展開

ふじ い あきら

藤井明氏

米久(株)
代表取締役社長

- ▷モットー 為せば成る 為さねばならぬ何事も
成らぬは 人の為さぬなりけり
- ▷趣味 DIY、海釣り
- ▷出身地 東京都

〈お話のポイント〉

- ♠当社はこれまで、スーパーや量販店のバックヤードに直接納入する業務用を中心にやってきましたが、2011年からそれに加えて、米久のブランドを全国にとどろかそうという思いの下、「御殿場高原あらびきポーク」のテレビCMをかなり力を入れてやり始めたところです。
- ♥また「豚肉の味噌煮込み」は通販からのヒット商品で2008、2009、2011と3回グルメ大賞(豚肉部門)をいただいた商品です。豚ばら肉のかたまりを焼き、煮込みを繰り返し、ほぐれるほどに柔らかく、口の中でとろけるおいしさ

です。

◆2011年6月以降、中国の国営企業と当社を含めた日本側3社が組み、中国で養豚養鶏と共にハム・ソーセージ類を生産、販売する事業を展開しています。現在の中国は、日本の年間総需要量に相当する50万トずつ、毎年需要が増える成長市場で、大きく期待をしています。

♣日本は、食文化という意味では非常に恵まれた国だと思います。当社は肉という切り口からですが、食文化を大切にして、食を無駄にしない事業展開をしていきたいと考えています。